

順天堂スポーツ元気塾設立趣旨

いま、全国各地で大学と地域の多様な連携が実を結び、さまざまな成果を上げています。それは、大学が地域との共存関係を築くことで、大学と地域の持っているお互いの力と魅力が混ざり合い新しい地域文化を醸成し、地域力を培うからです。

順天堂スポーツ元気塾は、医学と健康をベースにした順天堂スポーツのプロパティを最大限に活用して、地域と人々のこころとからだを元気にするための拠点を作り、その活動の核となる人材を提供し全国にネットワークすることを目指します。

1. 順天堂大学スポーツ健康科学部がスポーツ有するプロパティの活用
 1. スポーツ指導 2. 健康指導 3. 運営マネジメント
2. 順天堂大学スポーツ健康科学部の人材活用と開発
現場から引退したOB・OGたちの有能なキャリアを地域スポーツの担い手として再利用と再活用する。
メリット：自治体・行政への大学認知度を高め、人材登用の影響力を付ける。
3. 順天堂大学スポーツ健康科学部同窓会の地方支部の活性化と大学とのネットワーク構築
全国啓友会支部活動として順天堂スポーツ元気塾を展開し、大学との提携で地方における健康ビジネス産業を興し、卒業生の雇用創出を目指す。
4. 順天堂大学スポーツ健康科学部のブランディング形成
首都圏でのスポーツ元気塾の展開によって、メディアへの発信力を高め、スポーツメーカーとのコラボレーションを生み出す。また、その効果を活かして、大学とスポーツ・健康産業との連携を生み出す。(産学協同のプロジェクトを創出)
5. 少子化時代に対応しての大学プロモーション
1～4までの効果を活かして、受検生、進学者の質と量(競技力)を確保する。
目標：10年間で、順大関係者のオリンピック選手20名派遣を目指す。

事業内容

1. 各地の自治体のスポーツ教室・健康教室・スポーツイベントの企画運営受託
2. 都市部の、廃校施設を有効利用してのスポーツ教室・健康教室などのスポーツカルチャー事業と余暇プログラムの展開
3. 企業の健康教室・健康セミナーの企画運営受託
4. 企業のスポーツ・レクリエーションプログラムの企画運営受託(社内運動会運営の委託)
5. スポーツメーカーとタイアップしたスポーツ教室・健康教室・スポーツイベントの企画運営
6. 独自のセミナー・プログラムを順天堂大学各学部と連携して、該当キャンパスにおいて地域住民に提供

運営体制と進め方

1. 第1次計画 東京啓友会を主体として、東京都内行政とのタイアップ事業として順天堂スポーツ元気塾を開始

- ①文京区 元町小学校を初めとして、都内の廃校の空き教室・体育施設など利用して開塾
- ②都内公共施設を利用して開塾
- ③順大OB・OGの人材バンクをつくり、指導者、スタッフを組織する
- ④現役学生のインターシップとして、スタッフを活用する（学部との連携）
- ⑤事務局（暫定）を設置
- ⑥本年度中に法人化するか、大学の一部組織として位置づけるか
- ⑦塾長制をとり、会務の責任者とする。塾長（東京啓友会会長）